



■鳥飼・金丸・南校区の歴史年表■

鳥飼・金丸・南校区のできごと	時代	西 暦	日本のできごと
	旧石器	20,000	狩り・漁労・採集などで生活する
	縄文	10,000	土器や弓矢を使い始める 日本列島がほぼできあがる 落とし穴での狩りが盛ん
●人々が住み始める (日渡遺跡) (津福寺山遺跡)	弥生	400 紀元前	稲作が伝わる
●各地に集落がつくられる (宮ノ木遺跡) (金丸遺跡)	弥生	紀元後	倭国大乱 卑弥呼が邪馬台国を治める 古墳が造られ始める
●勾玉で、身を飾った人が住む (田中遺跡)	古墳	300	
●多くの集落がつくられる (津福古賀遺跡) (津福西小路遺跡)	古墳	500	筑紫岩磐井の乱 (527) 仏教伝来 (538) 群集墳が盛んにつくられる
●大地震がおき、各地で地割れがおきる (田中遺跡・津福寺山遺跡・日渡遺跡) (鳥飼小学校校庭遺跡)	飛鳥	600	大化の改新 (645) 白村江の戦いで大敗北 (663) 筑紫大地震 (679) 平城京に都を移す (710) 筑後国府・国分寺がつくられる
●集落やお墓がつくられる (鳥飼小学校校庭遺跡・日渡遺跡)	奈良	700	
●大隈城が建てられる (大隈城跡)	平安	800	平安京に都を移す (794)
	鎌倉	1200	鎌倉幕府の成立 (1192)
	室町	1400	室町幕府の成立 (1338)
	桃安山土	1500	応仁の乱 (1467)
●城下町がつくられる (小頭町)	江戸	1600	豊臣秀吉の天下統一 江戸幕府の成立 (1603) 久留米城下町ができる (1624~44)
●南校区に江戸屋敷がつくられる (江戸屋敷跡)	江戸	1900	明治維新 (1868)

13	久留米城下町 (小頭町)	江戸	江戸時代の久留米城下町の一部で、城下町の中では一番南よりの町です。主に町人たちの生活した町として賑わいをみせていました。
14	金丸遺跡	弥生~江戸	西鉄花畑駅周辺に広がる遺跡で、弥生時代や古墳時代の竪穴住居や、江戸時代の集落・溜池が発見されています。
15	鞍打遺跡	散布地	遺跡の詳細は不明ですが、土器などが拾われています。
16	津福弓場遺跡	鎌倉~室町	鎌倉時代から室町時代にかけての溝などがみつかっています。
17	江戸屋敷跡	明治	明治時代初期の廃藩置県により、江戸の久留米藩邸勤務から帰国した藩士の住まいがありました。
18	日渡遺跡	縄文~室町	縄文時代の土器や石器、弥生時代の竪穴住居、平安時代の墓などがみつかっています。周辺は特に縄文時代の遺跡として有名です。

■貴重な指定文化財たち■

19	雪の聖母聖堂	明治	この聖堂は、福岡市大名町のカトリック教会旧聖堂を移築したもので、県下に現存する最古の煉瓦造りの聖堂です。
20	太刀	室町	備前長船の作で国の重要文化財に指定されています。
21	短刀	鎌倉	左衛門三郎安吉の作で国の重要文化財に指定されています。